

実務経験のある教員等による授業科目一覧【スポーツ柔整学科】

授業科目	単位数	実務経験のある科目担当教員の氏名		
整形外科学	2	山田真人		
職業倫理と法律	2	新地秀臣		
総合柔道整復学	9	山根弘樹	浪尾敬一	山田真人
		黒木文葉	社 由洋	新地秀臣
柔整実技 4	1	黒木文葉		
柔整実技 5	1	田中 満		
柔整実技 6	1	社 由洋		
柔整実技 7	14	黒木文葉	浪尾敬一	社 由洋
		山田真人	田中 満	水江弘太
		新地秀臣		
臨床実習Ⅰ	1	社 由洋		
臨床実習Ⅱ	1	社 由洋		
臨床実習Ⅲ	1	社 由洋		
合 計	33			

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和5年度 スポーツ柔整学科					
			○									
授業科目名	リハビリテーション医学					担当者名		宇田津 明彦				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次		
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
										30		
授業概要	リハビリテーション医学の広い知識を身につけ、技術の向上に努め、医療分野の一翼を担い、社会の要請に応えられる人材の育成を目的とする。そのために、リハビリテーションの概念と歴史、リハビリテーション医学の基礎医学、評価法と診断、治療、実際について学び、最後に福祉との関連を勉強する。											
成績評価	中間試験、定期試験および再試験の結果を総合的に勘案して評価する。											
その他	宇田津 明彦（実務経験なし）											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	リハビリテーション医学（改訂第3版）	(社)全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授業計画
1	リハビリテーションの概念と歴史・リハビリテーション医学
2	リハビリテーション医学の基礎医学1（運動学と機能解剖）
3	リハビリテーション医学の基礎医学2（障害学・治療学）
4	リハビリテーション医学の評価と診断1（患者のとらえ方・身体計測・関節可動域測定法・中枢性運動障害の評価法・痙縮の評価法）
5	リハビリテーション医学の評価と診断2（小児運動発達の評価法1・協調性テスト・失認と失行の評価法・心理評価・日常生活動作の評価）
6	リハビリテーション医学の評価と診断3（電気生理学的診断法1・画像診断）・リハビリテーションの治療1（理学療法1）
7	リハビリテーションの治療2（理学療法2・作業療法1）
8	中間試験
9	リハビリテーションの治療3（作業療法2・補装具1）
10	リハビリテーションの治療4（補装具2・言語治療）
11	リハビリテーション医学と関連職種・リハビリテーションの実際1 脳卒中・脊髄損傷
12	リハビリテーションの実際2（小児疾患・切断）
13	リハビリテーションの実際3（末梢神経損傷・関節リウマチ）
14	リハビリテーションの実際4（整形外科疾患・心疾患・呼吸器疾患）
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
		○		令和5年度 スポーツ柔整学科							
授業科目名	整形外科学2			担当者名	山田 真人						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	
授業概要	"臨床の現場で遭遇する個々の疾患に対して、これまで柔道整復実技1から同5までに習得した知識および技術を応用して対応する能力を身につける。ここでは主に、柔道整復師が遭遇しやすい整形外科的疾患とその見分け方について学習する。"										
成績評価	筆記および実技試験の成績、課題の提出状況および取り組み方を総合的に評価。										
その他	山田 真人 (病院整形外科において整形外科医として勤務)										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	整形外科学	全国柔道整復学校協会監修	医歯薬出版
参考図書	施術の適応と医用画像の理解	全国柔道整復学校協会監修	南江堂

回数	授業計画
1	身体部位別各論 (体幹)
2	身体部位別各論 (肩甲帯および上肢) ①
3	身体部位別各論 (肩甲帯および上肢) ②
4	身体部位別各論 (肩甲帯および上肢) ③
5	身体部位別各論 (骨盤および下肢の疾患) ①
6	身体部位別各論 (骨盤および下肢の疾患) ②
7	身体部位別各論 (骨盤および下肢の疾患) ③
8	中間試験
9	画像診断の理解 (X線)
10	画像診断の理解 (Ct)
11	画像診断の理解 (MRI)
12	画像診断の理解 (MR)
13	画像診断の理解 (超音波)
14	運動器系の画像
15	期末試験

科目区分	基礎分野		専門基礎分野		専門分野		九州医療スポーツ専門学校 令和5年度 スポーツ柔整学科					
			○				担当者名		新地 秀臣			
授業科目名	職業倫理と法律						担当者名		新地 秀臣			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等		1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数		前期	後期	前期	後期	前期	後期
授業概要	医療従事者になる為の職業倫理や臨床現場に出たからの社会的対応をグループワークを通して習得する。また、必要な法律や責任の重さを学習する。											
成績評価	"中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。"											
その他	新地 秀臣 (柔道整復施術所において柔道整復師として勤務)											

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	社会保障制度と柔道整復師の職業倫理	川淵孝一・長尾敦彦・前田和彦	医歯薬出版
参考図書	関係法規 改訂第2版	前田和彦	医歯薬出版

回数	授業計画
1	A. 医療従事者の職業倫理
2	B. 柔道整復師に必要な基本的倫理観と患者への対応
3	C. 柔道整復師の社会的責任と対応 「患者への対応Ⅰ」
4	C. 柔道整復師の社会的責任と対応 「患者への対応Ⅱ」
5	C. 柔道整復師の社会的責任と対応 「患者への対応Ⅲ」
6	C. 柔道整復師の社会的責任と対応 「患者への対応Ⅳ」
7	C. 柔道整復師の社会的責任と対応 「患者への対応Ⅴ・まとめ」
8	中間試験
9	D. グループディスカッション事例①「施術におけるトリアージ」
10	D. グループディスカッション事例②「個人情報、認知症の対応」
11	D. グループディスカッション事例③「柔道整復師と整体師」
12	E. 医療における情報と責任
13	社会保険関係法規①「健康保険法」「国民健康保険法」
14	社会保険関係法規②「個人情報保護に関する法律」
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
			○	令和5年度	スポーツ柔整学科				
授業科目名	総合柔道整復学			担当者名	山根 弘樹				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期
									30
授業概要	"柔道整復学総論を学習する。 範囲は以下の通りとする。 診察～外傷予防"								
成績評価	"中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。"								
その他	山根 弘樹（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	公社) 全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-実技編 改訂第2版	(公社) 全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	人体の観察法
2	医療面接、医療面接演習
3	診察の順序、診察の演習
4	頭部および顔面部の診察
5	頸背部の触診 頸部の診察
6	背部の診察
7	肩部・腰部の触診
8	中間試験
9	肩部の診察
10	上腕部・肘部の触診
11	前腕部・手部の触診 前腕部の診察
12	手部の診察
13	手指部・胸部の触診
14	前腕部・手部の触診 前腕部の診察
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
			○	令和5年度	スポーツ柔整学科				
授業科目名	総合柔道整復学②			担当者名	浪尾 敬一				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期
									30
授業概要	"柔道整復学総論を学習する。 範囲は以下の通りとする。 診察～外傷予防"								
成績評価	"中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。"								
その他	浪尾 敬一（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	(社) 全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-実技編 改訂第2版	(社) 全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	股部の診察
2	殿部の診察
3	大腿部の診察
4	膝部の診察①
5	膝部の診察②
6	下腿部の診察
7	足部の診察 足指部の診察
8	中間試験
9	診察シミュレーション①
10	診察シミュレーション②
11	診察シミュレーション③
12	鑑別診断の手法①
13	鑑別診断の手法②
14	復習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和5年度	スポーツ柔整学科						
授業科目名	総合柔道整復学③			担当者名	山田 真人						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次		3年次		
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30
授業概要	"柔道整復学総論を学習する。 範囲は以下の通りとする。 診察～外傷予防"										
成績評価	"中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。"										
その他	山田 真人 (病院整形外科において整形外科医として勤務)										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	(公社) 全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-実技編 改訂第2版	(公社) 全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	徒手検査法の種類①
2	徒手検査法の種類②
3	徒手検査法①
4	徒手検査法②
5	徒手検査法③
6	徒手検査法④
7	徒手検査 演習
8	中間試験
9	頸部の検査法演習
10	肩部の検査法演習
11	肘部の検査法演習
12	手部の検査法演習
13	総合演習①
14	総合演習②
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和5年度	スポーツ柔整学科						
授業科目名	総合柔道整復学④			担当者名	宇田津 明彦						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30
授業概要	"柔道整復学総論を学習する。 範囲は以下の通りとする。 診察～外傷予防"										
成績評価	"中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。"										
その他	宇田津 明彦（実務経験なし）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	(公社) 全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-実技編 改訂第2版	(公社) 全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	徒手検査法の種類①
2	徒手検査法の種類②
3	徒手検査法①
4	徒手検査法②
5	徒手検査法③
6	徒手検査法④
7	徒手検査 演習
8	中間試験
9	腰部の検査法演習
10	股部の検査法演習
11	膝部の検査法演習
12	下腿部の検査法演習
13	足部の検査法演習
14	総合演習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和5年度	スポーツ柔整学科						
授業科目名	総合柔道整復学⑤			担当者名	黒木 文葉						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30
授業概要	"柔道整復学総論を学習する。 範囲は以下の通りとする。 診察～外傷予防"										
成績評価	"中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。"										
その他	黒木 文葉 (柔道整復施術所において柔道整復師として勤務)										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	(公社) 全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-実技編 改訂第2版	(公社) 全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	鎖骨骨折の考え方と整復法
2	肩鎖関節脱臼の考え方と整復法
3	上腕骨外科頸骨折の考え方と整復法
4	橈骨遠位端部骨折の考え方と整復法 小児の橈骨遠位骨端線離開の考え方と整復法
5	手指骨骨折の考え方と整復法
6	母指MP関節脱臼の考え方と整復法 手指PIP関節脱臼の考え方と整復法
7	肩関節脱臼の考え方と整復法
8	中間試験
9	肘関節脱臼の考え方と整復法
10	股関節脱臼の考え方と整復法
11	膝蓋骨脱臼の考え方と整復法
12	膝蓋骨骨折の考え方と整復法 下腿骨骨幹部骨折の考え方と整復法
13	足指骨骨折の考え方と整復法 足関節果部骨折の考え方と整復法
14	復習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和5年度	スポーツ柔整学科						
授業科目名	総合柔道整復学⑥			担当者名	山根 弘樹、黒木 文葉、社 由洋						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30
授業概要	"柔道整復学総論を学習する。 範囲は以下の通りとする。 診察～外傷予防"										
成績評価	"中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。"										
その他	山根 弘樹、黒木 文葉、社 由洋 (柔道整復施術所において柔道整復師として勤務)										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	(公社) 全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-実技編 改訂第2版	(公社) 全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	医療面接の方法論
2	医療面接演習
3	診察の進め方
4	診察の進め方演習
5	鑑別診断の方法
6	鑑別診断演習 1
7	鑑別診断演習 2
8	中間試験
9	徒手整復の種類と方法論
10	徒手整復演習①
11	徒手整復演習②
12	頸部背部腰部軟部組織損傷に対する診察法と処置法
13	上肢の軟部組織損傷に対する診察法と処置法
14	下肢の軟部組織損傷に対する診察法と処置法
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和5年度	スポーツ柔整学科						
授業科目名	総合柔道整復学⑦			担当者名	山田 真人、黒木 文葉、社 由洋、新地 秀臣						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30
授業概要	教科書を中心に臨床の内容も豊富に講義する。										
成績評価	"中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。"										
その他	山田 真人（病院整形外科において整形外科医として勤務）、黒木 文葉、社 由洋、新地 秀臣（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	(公社) 全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-実技編 改訂第2版	(公社) 全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授 業 計 画
1	診察法
2	治療計画 施術録について
3	骨折の整復法
4	脱臼の整復法
5	軟部組織損傷の治療法
6	固定法①
7	固定法②
8	中間試験
9	後療法① 手技療法
10	後療法② 運動療法
11	後療法③ 物理療法
12	指導管理
13	外傷の予防①
14	外傷の予防②
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
			○	令和5年度	スポーツ柔整学科				
授業科目名	総合柔道整復学⑧			担当者名	社 由洋、山根 弘樹				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期
									30
授業概要	教科書を中心に臨床の内容も豊富に講義する。								
成績評価	"中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。"								
その他	社 由洋、山根 弘樹 (柔道整復施術所において柔道整復師として勤務)								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	整形外科学	(社) 全国柔道整復学校協会	医歯薬出版
参考図書	標準整形外科学	監修 国分正一 ほか	医学書院

回数	授業計画
1	運動器の基礎知識
2	整形外科診察法
3	整形外科検査法
4	整形外科的治療法
5	骨関節損傷総論
6	疾患別各論①
7	疾患別各論②
8	中間試験
9	疾患別各論 神経筋疾患
10	身体部位各論①
11	身体部位各論②
12	身体部位各論③
13	身体部位各論④
14	身体部位各論⑤
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校					
			○	令和5年度	スポーツ柔整学科				
授業科目名	総合柔道整復学⑨			担当者名	黒木 文葉				
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次	3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期
								30	
授業概要	"人間の運動に関する基本的な知識を習得する。主に力学や運動器の構造機能、姿勢、歩行、上肢や下肢の運動、脊柱の運動、下肢帯と下肢の運動、上肢帯と上肢の運動について学習する。"								
成績評価	"中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。"								
その他	黒木 文葉 (柔道整復施術所において柔道整復師として勤務)								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	運動学 第3版	斉藤宏ほか著	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	運動学の定義
2	上肢帯・上肢の構造 総論 上肢帯 肩関節
3	肘関節の運動 筋 手関節の運動
4	股関節の運動 膝関節の運動
5	体幹の運動
6	呼吸筋
7	神経
8	中間試験
9	反射と随意運動
10	小脳・機能
11	姿勢 歩行 運動発達 運動学習①
12	姿勢 歩行 運動発達 運動学習②
13	総演習
14	総演習②
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和5年度	スポーツ柔整学科						
授業科目名	柔整実技4			担当者名	黒木 文葉						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	
授業概要	様々な整復法、固定法法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。										
成績評価	定期試験および受講態度										
その他	黒木 文葉 (柔道整復施術所において柔道整復師として勤務)										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学-実技編 改訂第2版	(公社) 全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	(公社) 全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	オリエンテーション、骨折総論・触診
2	鎖骨骨折整復
3	鎖骨骨折固定
4	上腕骨外科頸骨折整復
5	上腕骨外科頸骨折固定
6	コーレス骨折整復①
7	コーレス骨折整復②
8	コーレス骨折固定
9	肋骨骨折固定
10	第5中手骨骨折固定
11	下腿骨骨幹部骨折固定
12	復習
13	プレ試験
14	復習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			九州医療スポーツ専門学校					
			○			令和5年度 スポーツ柔整学科					
授業科目名	柔整実技5					担当者名		田中 満			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	
授業概要	様々な整復法、固定法法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。										
成績評価	定期試験および受講態度										
その他	田中 満 (柔道整復施術所において柔道整復師として勤務)										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学-実技編 改訂第2版	(公社) 全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	(公社) 全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	オリエンテーション・脱臼総論・触診
2	肩鎖関節脱臼整復
3	肩鎖関節脱臼固定
4	肩関節脱臼整復①
5	肩関節脱臼整復②
6	肩関節脱臼固定
7	肘関節脱臼整復
8	肘関節脱臼固定
9	肘内障整復
10	第2指PIP関節脱臼固定
11	復習
12	復習
13	プレ試験
14	復習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			九州医療スポーツ専門学校					
			○			令和5年度 スポーツ柔整学科					
授業科目名	柔整実技6					担当者名		社 由洋			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	
授業概要	様々な検査法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。										
成績評価	定期試験および受講態度										
その他	社 由洋（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編 改訂第2版	(公社) 全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	(公社) 全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授 業 計 画
1	オリエンテーション・軟部組織損傷総論・触診
2	肩腱板損傷検査法
3	上腕二頭筋長頭腱損傷検査法
4	ハムストリングス損傷（肉離れ）検査法
5	大腿四頭筋打撲検査法
6	膝関節側副靭帯損傷検査法
7	膝関節十字靭帯損傷検査法
8	膝関節半月板損傷検査法
9	下腿三頭筋損傷（肉離れ）検査法
10	足関節外側靭帯損傷検査法
11	口頭試問対策（鑑別・合併症）
12	復習
13	プレ試験
14	復習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和5年度	スポーツ柔整学科						
授業科目名	柔整実技7①			担当者名	黒木 文葉						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	
授業概要	様々な整復法、固定法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。										
成績評価	定期試験および受講態度										
その他	黒木 文葉（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編 改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	人体の観察法
2	医療面接、医療面接演習
3	診察の順序、診察の演習
4	頭部および顔面部の診察
5	頸背部の触診 頸部の診察 背部の診察
6	肩部・腰部の触診
7	腰部の診察
8	肩部の診察
9	上腕部・肘部の触診
10	上腕部の診察 肘部の診察
11	前腕部・手部の触診診察
12	手指部・胸部の触診
13	手指部の診察
14	胸部の診察
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			九州医療スポーツ専門学校					
			○			令和5年度 スポーツ柔整学科					
授業科目名	柔整実技7②					担当者名		浪尾 敬一			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	
授業概要	様々な整復法、固定法法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。										
成績評価	定期試験および受講態度										
その他	浪尾 敬一（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学-実技編 改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	股部の診察
2	殿部の診察
3	大腿部の診察
4	膝部の診察
5	下腿部の診察
6	足部の診察
7	足指部の診察
8	足指部の診察
9	診察シミュレーション①
10	診察シミュレーション②
11	鑑別診断の手法①
12	鑑別診断の手法②
13	徒手検査法①
14	徒手検査法②
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			九州医療スポーツ専門学校					
			○			令和5年度 スポーツ柔整学科					
授業科目名	柔整実技7③					担当者名		黒木 文葉			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	
授業概要	様々な整復法、固定法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。										
成績評価	定期試験および受講態度										
その他	黒木 文葉 (柔道整復施術所において柔道整復師として勤務)										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学-実技編 改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	徒手検査法の種類
2	頸部の検査法
3	頸部の検査法演習
4	肩部の検査法
5	肩部の検査法演習
6	肘部の検査法
7	肘部の検査法演習
8	手部の検査法
9	手部の検査法演習
10	股部の検査法と演習
11	膝部の検査法
12	膝部の検査法演習
13	足部の検査法
14	足部の検査法演習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			九州医療スポーツ専門学校					
			○			令和5年度 スポーツ柔整学科					
授業科目名	柔整実技7④					担当者名		社 由洋			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
授業概要	様々な整復法、固定法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。										
成績評価	定期試験および受講態度										
その他	社 由洋（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編 改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授 業 計 画
1	徒手検査法の種類
2	頸部の関節可動域計測
3	頸部の関節可動域計測実技
4	肩関節の関節可動域計測
5	肩関節の関節可動域計測実技
6	肘関節の関節可動域計測
7	肘関節の関節可動域計測実技
8	前腕の関節可動域計測
9	前腕の関節可動域計測実技
10	手関節の関節可動域計測
11	手関節の関節可動域計測実技
12	手指関節の関節可動域計測
13	手指関節の関節可動域計測実技
14	体幹の関節可動域計測
15	体幹の関節可動域計測実技

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和5年度	スポーツ柔整学科						
授業科目名	柔整実技7⑤			担当者名	黒木 文葉						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	
授業概要	柔道整復学総論を学習する。 範囲は以下の通りとする。 診察～外傷予防										
成績評価	中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。										
その他	黒木 文葉（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-実技編 改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	鎖骨骨折の考え方と整復法
2	肩鎖関節脱臼の考え方と整復法
3	上腕骨外科頸骨折の考え方と整復法
4	橈骨遠位端部骨折の考え方と整復法 小児の橈骨遠位骨端線離開の考え方と整復法
5	手指骨骨折の考え方と整復法
6	母指MP関節脱臼の考え方と整復法 手指PIP関節脱臼の考え方と整復法
7	肩関節脱臼の考え方と整復法
8	中間試験
9	肘関節脱臼の考え方と整復法
10	股関節脱臼の考え方と整復法
11	膝蓋骨脱臼の考え方と整復法
12	膝蓋骨骨折の考え方と整復法 下腿骨骨幹部骨折の考え方と整復法
13	足指骨骨折の考え方と整復法 足関節果部骨折の考え方と整復法
14	復習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			九州医療スポーツ専門学校					
			○			令和5年度 スポーツ柔整学科					
授業科目名	柔整実技7⑥					担当者名		黒木 文葉、浪尾 敬一			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	
授業概要	様々な整復法、固定法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。										
成績評価	定期試験および受講態度										
その他	浪尾 敬一、黒木 文葉（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編 改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	徒手筋力検査法概論
2	徒手筋力検査法の方法論①
3	徒手筋力検査法の方法論②
4	頸部の徒手筋力検査法
5	頸部の徒手筋力検査法実技
6	肩部の徒手筋力検査法
7	肩部の徒手筋力検査法実技
8	肘部の徒手筋力検査法
9	肘部の徒手筋力検査法実技
10	前腕部の徒手筋力検査法
11	前腕部の徒手筋力検査法実技
12	手部の徒手筋力検査法
13	手部の徒手筋力検査法実技
14	指部の徒手筋力検査法
15	指部の徒手筋力検査法実技

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校 令和5年度 スポーツ柔整学科					
			○	担当者名		山田 真人、田中 満、水江 弘太			
授業科目名	柔整実技7⑦			1年次		2年次		3年次	
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数			30	
授業概要	様々な整復法、固定法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。								
成績評価	定期試験および受講態度								
その他	山田 真人（病院整形外科において整形外科医として勤務）田中 満、水江 弘太（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）								

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編 改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	体幹の徒手筋力検査法
2	体幹の徒手筋力検査法実技
3	股部の徒手筋力検査法
4	股部の徒手筋力検査法実技
5	膝部の徒手筋力検査法
6	膝部の徒手筋力検査法実技
7	足部の徒手筋力検査法
8	足部の徒手筋力検査法実技
9	足指部の徒手筋力検査法
10	足指部の徒手筋力検査法実技
11	徒手筋力検査法による評価法①
12	徒手筋力検査法による評価法②
13	各疾患にみられる徒手筋力検査結果①
14	各疾患にみられる徒手筋力検査結果②
15	各疾患にみられる徒手筋力検査結果③

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和5年度	スポーツ柔整学科						
授業科目名	柔整実技7⑧			担当者名	田中 満						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	
授業概要	様々な整復法、固定法法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。										
成績評価	定期試験および受講態度										
その他	田中 満（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編 改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	単純X線診断法概論
2	単純X線撮影法
3	単純X線像による評価法
4	頸椎疾患の評価法
5	頸椎疾患の評価実技
6	頸椎疾患に対する処置
7	頸椎疾患に対する処置実技
8	肩部疾患の評価法
9	肩部疾患の評価実技
10	肩部疾患に対する処置
11	肩部疾患に対する処置実技
12	肘部疾患の評価法
13	肘部疾患の評価実技
14	肘部疾患に対する処置
15	肘部疾患に対する処置実技

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和5年度	スポーツ柔整学科						
授業科目名	柔整実技7⑨			担当者名	田中 満						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30
授業概要	""人間の運動に関する基本的な知識を習得する。主に力学や運動器の構造機能、姿勢、歩行、上肢や下肢の運動、脊柱の運動、下肢帯と下肢の運動、上肢帯と上肢の運動について学習する。""										
成績評価	中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。										
その他	田中 満（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	運動学 第3版	斉藤宏ほか著	医歯薬出版
参考図書			

回数	授 業 計 画
1	運動学の定義
2	上肢帯・上肢の構造 総論 上肢帯 肩関節
3	肘関節の運動 筋 手関節の運動
4	股関節の運動 膝関節の運動
5	体幹の運動
6	呼吸筋
7	神経
8	中間試験
9	反射と随意運動
10	小脳・機能
11	姿勢 歩行 運動発達 運動学習①
12	姿勢 歩行 運動発達 運動学習②
13	総演習
14	総演習②
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			九州医療スポーツ専門学校					
			○			令和5年度 スポーツ柔整学科					
授業科目名	柔整実技7⑩					担当者名		黒木 文葉			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30
授業概要	様々な整復法、固定法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。										
成績評価	定期試験および受講態度										
その他	黒木 文葉（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編 改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	膝部疾患の評価法
2	膝部疾患の評価実技
3	膝部疾患の処置
4	膝部疾患の処置実技
5	足部疾患の評価法
6	足部疾患の評価実技
7	足部疾患の処置
8	足部疾患の処置実技
9	足指部疾患の評価法
10	足指部疾患の評価実技
11	足指部疾患の処置法
12	足指部疾患の処置実技
13	臨床現場で遭遇しやすい疾患の評価法①
14	臨床現場で遭遇しやすい疾患の評価法②
15	総合演習

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和5年度	スポーツ柔整学科						
授業科目名	柔整実技7⑪			担当者名	田中 満						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次	2年次		3年次		
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30
授業概要	様々な整復法、固定法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。										
成績評価	定期試験および受講態度										
その他	田中 満 (柔道整復施術所において柔道整復師として勤務)										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学-実技編 改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	固定材料の種類
2	硬性材料の使い方
3	クラーメル副子の作成法
4	患部にあったクラーメル副子の作成法
5	クラーメル副子の作成①
6	クラーメル副子の作成②
7	クラーメル副子の作成③
8	局所副子の使い方
9	局所副子の作成①
10	局所副子の作成②
11	局所副子の作成③
12	アルフェンスシーネを用いた固定
13	アルフェンスシーネの作成①
14	アルフェンスシーネの作成②
15	総合演習

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和5年度	スポーツ柔整学科						
授業科目名	柔整実技7⑫			担当者名	田中 満						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30
授業概要	様々な整復法、固定法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。										
成績評価	定期試験および受講態度										
その他	田中 満 (柔道整復施術所において柔道整復師として勤務)										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学-実技編 改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授 業 計 画
1	ギプス固定理論
2	ギプスシャーレの作成法
3	ギプスカッターの使用法
4	ギプスの作成①
5	ギプスの作成②
6	ギプスシャーレの作成①
7	ギプスシャーレの作成②
8	キャストライトによる固定理論
9	キャストライトの作成法
10	キャストライトの作成①
11	キャストライトの作成②
12	いろいろな材料を用いた固定理論
13	いろいろな材料を用いた固定実技①
14	いろいろな材料を用いた固定実技②
15	総合演習

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野			九州医療スポーツ専門学校					
			○			令和5年度 スポーツ柔整学科					
授業科目名	柔整実技7 <sup>⑬</sup>					担当者名		新地 秀臣			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数											30
授業概要	様々な整復法、固定法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。										
成績評価	定期試験および受講態度										
その他	新地 秀臣（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編 改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	テーピング概論
2	テーピングの種類、テーピング手法の種類
3	テーピングによる固定
4	肩部のテーピング理論
5	肩部のテーピング実技
6	肘部のテーピング理論
7	肘部のテーピング実技
8	手部のテーピング理論
9	手部のテーピング実技
10	手指部のテーピング理論
11	手指部のテーピング実技
12	背部のテーピング理論
13	背部のテーピング実技
14	股部のテーピング理論
15	股部のテーピング実技

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	九州医療スポーツ専門学校							
			○	令和5年度	スポーツ柔整学科						
授業科目名	柔整実技7⑭			担当者名	黒木 文葉						
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	
授業概要	様々な整復法、固定法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。										
成績評価	定期試験および受講態度										
その他	黒木 文葉 (柔道整復施術所において柔道整復師として勤務)										

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	柔道整復学-実技編 改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編 改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授業計画
1	膝部のテーピング理論
2	膝部のテーピング実技
3	足部のテーピング理論
4	足部のテーピング実技
5	足指部のテーピング理論
6	足指部のテーピング実技
7	足底挿板理論①
8	底挿板理論②
9	“足底挿板の作成”
10	疾患別足底挿板の改良 (考え方)
11	疾患別足底挿板の改良 (実技)
12	機能的装具理論
13	機能的装具の改良
14	機能的装具の作成
15	“総合演習”

臨床実習 I シラバス

臨床実習	学年	単位	時間数	担当者 社 由洋 社 由洋 (柔道整復施術所において柔道整復師として勤務)
	1	1	45	
一般目標	臨床体験、臨床見学を通じて、臨床に携わる者としての態度・習慣、ならびに実践的能力を身につける。			
到達目標	1) 臨床実習において施術所における施術の一連の流れを理解する。 2) 実習施設の業務形態を理解し、スタッフとしての行動ができる。 3) 患者に対して、適切な態度で接する。			
学習内容	大項目	中項目		
	基礎実習	1) 柔道整復師としてふさわしい服装、身だしなみや態度を身につける 2) ベットメイキング、衛生面への配慮  <b>【見学実習】</b> 環境準備 患者さんの誘導実施 <b>【体験実習】</b> 患者として施術を受け、グループディスカッションの実施		
	患者さんに対する対応	1) 患者に適切な対応ができる 2) 患者の抱える問題点に共感できる		
	施術録作成・症例検討	1) 施術録の記載項目を理解できる。		
	保険請求	1) 社会保障制度と受領委任払いの説明ができる		
	評価	個人レポート、臨床実習指導者、実習調整者の評価などを総合的に評価する		

臨床実習Ⅱ シラバス

臨床実習	学年	単位	時間数	担当者 社 由洋 社 由洋 (柔道整復施術所において柔道整復師として勤務)
	2	1	45	
一般目標	臨床体験、臨床見学を通じて、臨床に携わる者としての態度・習慣、ならびに実践的能力を身につける。			
到達目標	1)臨床実習において施術所における施術の一連の流れを理解する。 2)実習施設の業務形態を理解し、スタッフとしての行動ができる。 3)患者に対して、適切な態度で接する。 4)付帯業務などの課題が解決できる。			
学習内容	大項目	中項目		
	基礎実習	1)柔道整復師としてふさわしい服装、身だしなみや態度を身につける 2)医療面接の実施 3)ROM,MMTなどを計測、評価の実施 4)神経学的検査、脈管検査、評価の実施 5)治療機器の効果、禁忌の理解 6)ベットメイキング、衛生面への配慮 【見学実習】 環境準備 受付業務 患者さんの誘導実施 【体験実習】 医療面接および所見を記載する。		
	患者さんに対する対応	1)患者に適切な対応ができる 2)患者の抱える問題点に共感できる		
	施術録作成・症例検討	1)施術録の作成 2)症例検討の実施		
	保険請求	1)手続きの意義 2)記載方法の実施		
	評価	個人レポート、臨床実習指導者、実習調整者の評価などを総合的に評価する		

臨床実習Ⅲ シラバス

臨床実習	学年	単位	時間数	担当者 社 由洋 社 由洋 (柔道整復施術所において柔道整復師として勤務)
	2	1	45	
一般目標	臨床体験、臨床見学を通じて、臨床に携わる者としての態度・習慣、ならびに実践的能力を身につける。			
到達目標	1)臨床実習において施術所における施術の一連の流れを理解する。 2)実習施設の業務形態を理解し、スタッフとしての行動ができる。 3)患者に対して、適切な態度で接する。 4)実習指導者に模倣的に行為が実施できる。			
学習内容	大項目	中項目		
	基礎実習	1)柔道整復師としてふさわしい服装、身だしなみや態度を身につける 2)医療面接の実施 3)ROM,MMTなどを計測、評価の実施 4)神経学的検査、脈管検査、評価の実施 5)治療機器の効果、禁忌の理解 6)ペットメイキング、衛生面への配慮 【見学実習】 環境準備 受付業務 患者さんの誘導実施 【体験実習】 臨床実習指導者に対して模倣的に行為を行う。		
	患者さんに対する対応	1)患者に適切な対応ができる 2)患者の抱える問題点に共感できる 3)自己の問題点を抽出し、解決できる。		
	施術録作成・症例検討	1)施術録の作成 2)症例検討の実施		
	保険請求	1)手続きの意義 2)記載方法の実施		
	評価	個人レポート、臨床実習指導者、実習調整者の評価などを総合的に評価する		

臨床実習Ⅳ シラバス

臨床実習	学年	単位	時間数	担当者 社 由洋 社 由洋 (柔道整復施術所において柔道整復師として勤務)
	3	1	45	
一般目標	臨床体験、臨床見学を通じて、臨床に携わる者としての態度・習慣、ならびに実践的能力を身につける。			
到達目標	1) 臨床実習において施術所における施術の一連の流れを理解する。 2) 実習施設の業務形態を理解し、スタッフとしての行動ができる。 3) 患者に対して、適切な態度で接する。 4) 指導・監視下のもと施術の介助ができる。			
学習内容	大項目	中項目		
	基礎実習	1) 柔道整復師としてふさわしい服装、身だしなみや態度を身につける 2) 医療面接の実施 3) ROM,MMTなどを計測、評価の実施 4) 神経学的検査、脈管検査、評価の実施 5) 治療機器の効果、禁忌の理解 6) ベットメイキング、衛生面への配慮 【見学実習】 環境準備 受付業務 患者さんの誘導実施 【体験実習】 指導・監視下のもと施術の介助を行う。		
	患者さんに対する対応	1) 患者に適切な対応ができる 2) 患者の抱える問題点に共感できる 3) 自己の問題点を抽出し、解決できる。		
	施術録作成・症例検討	1) 施術録の作成 2) 症例検討の実施		
	保険請求	1) 手続きの意義 2) 記載方法の実施		
	評価	個人レポート、臨床実習指導者、実習調整者の評価などを総合的に評価する		